

県内大学の学生へのインタビュー

中京大学スポーツ科学部 及び 日本福祉大学スポーツ科学部

計 106 名へのアンケート結果から一部抜粋

障害のある方やパラスポーツに対して、今どのようなイメージを持っていますか
認知度が低く、メディアに取り上げられる機会が少ない。
ボッチャ等魅力的な競技があるが、知名度が低いのもっと広げていくべき。
人々に勇気を与えるというイメージがある。
共生社会において重要なもの。
今も様々な取り組みが行われている。これからの未来に期待したい。
スポーツをするにも不自由なことが多くて準備が大変そう。
パラ特有のルールがあり、観るスポーツとしておもしろい。
メディア露出が少ないため、もっと取り上げるべき。
感覚が健常者よりも研ぎ澄まされており、驚くようなプレイが生まれる。
健常者が行なうスポーツと何ら変わりのないスポーツであると思っている。
パラスポーツは多様な人々を繋ぐことができるというイメージがある。
まだ少し悪い偏見を持ってしまっていると思う。
スポンサーがあまりお金をかけない。そもそもスポンサーがないこともある。
簡単に大会等を開催できない。
練習場所や競技人口が少なく、環境が整っていない。
真剣勝負をしてとても勇気を与えてくれるイメージ。
パラスポーツは自分が今持っている力を最大限に活かした競技である。
まだ世の中で十分な理解を得られていないと思う。
もっと魅力を発信し、パラスポーツによって障がいへの理解を深めていくべき。
テレビ中継やインターネット配信等が少ないイメージ。
とても高いスキルや精神力を持ち、レベルが高い競技である。
社会的に認知はされてきているが、まだ完全に理解されてはいない。
SNSでの発信が少ない。
パラスポーツは実際に体験してみるととても難しい。

パラスポーツの持つ魅力や可能性とは、どのようなものだと思いますか

- いつかオリ・パラの境界がなくなり、ユニバーサルスポーツが普及すること。
- 障がいのある方にとっての生きがいや目標となる存在。
- パラスポーツの魅力は、障がいのある人もない人も誰もが一緒に楽しめること。
- パラ独自のルールでどこまでも発展していける。
- 健常者と変わらないパワーでスポーツをする姿は、迫力があってすごい。
- 同じ障がいを持った方に勇気を与えることができる。
- 年々注目度は上がってきており、観る人がもっと増える可能性を秘めている。
- 当たり前や固定観念、できないであろうという考えを覆すことができる。
- 障がいの原因で後向きな気持ちになりがちな人を勇気付けることができる。
- パラスポーツは障がいに対する偏見を減らすことにとっても役立つものだと思う。
- 義足を存分に活かしたプレイや車いすでのターン等のテクニックが魅力的。
- スポーツを通じて人々が多様性について考えるきっかけになる。
- 障がいを持つ子どもたちに夢や希望を与えることができる。
- 選手一人ひとりにストーリーがある。

アジアパラ競技大会及びアジア競技大会がどのような大会となることを望みますか

- 大会の影響を受けてパラスポーツ教室が増えてほしい。
- 障がいのある人がスポーツを始めるきっかけとなるような大会。
- 大会をきっかけにパラスポーツに興味を持つ人が増えることを望む。
- 大谷翔平さんのようなスーパースターが生まれてほしい。
- テレビで大々的に放映される。
- 愛知の魅力を発信できる大会。
- 多くの人に関わり、良い社会をつくることに繋がるような大会。
- 多様性を認め合うことについて、日本含めアジアがその先駆けとなるような大会。
- アジア全体の競技力の向上やパラスポーツへの理解がより高まる大会。
- 違反のない公正な大会となることを望む。
- 世界的に注目され、アジア以外からもたくさんの方が観に来るような大会。
- 愛知・名古屋が盛り上がるような大会。
- 大きな事故や事件がないことが第一です。
- パラ競技大会にもアジア競技大会と同等のスポットが当たるような大会。
- 障がいのある人への接し方、感じ方が変わるような大会。
- 選手が思い切りプレイすることができ、その姿に元気やパワーをもらえる大会。
- スポーツを通じて人々が繋がる大会。